

活動成果の報告・申請書

提出日:2025年1月16日

研究会名	Shobai lab.-商業研究会 (EQ 研究チーム)	
申請区分	<input checked="" type="checkbox"/> 研究成果の公表に対する報奨への申請 <input type="checkbox"/> 優れた成果を挙げた新規研究会の表彰への申請	
成果物	<input checked="" type="checkbox"/> 報告書(書式に特にはありません) <input type="checkbox"/> 動画コンテンツ <input type="checkbox"/> その他() ※「研究成果の公表」を選ばれた場合、提出いただいた成果物は協会ホームページ等でそのまま公表しますので、守秘義務や肖像権、個人情報保護の観点から問題のない内容としてください。	
タイトル	中小企業診断士として EQ をどう活用できるのか？ ～組織を活性化させる感情の活用方法～	
概要	<p>EQ (Emotional Intelligence Quotient:感情知能指数)は、感情を理解し管理する能力で、自己認識、自己管理、共感、社会性などを測定します。VUCA 時代やストレス社会と呼ばれる現代では、感情を適切に制御し、他者と良好な関係を築くスキルが重要性を増しています。</p> <p>EQ は「知る」「選ぶ」「活かす」の3能力と、それを構成する8つの行動特性(感情リテラシー、楽観性、内発的モチベーションなど)から成り立ちます。これらを伸ばすことで、ポジティブな変化をもたらし、個人の感情が安定し良好な人間関係により、個人や組織の成果を高められます。</p> <p>本研究では、中小企業診断士がEQを活用する方法を整理しました。具体例として、金属加工業の社長が値上げ交渉に踏み切れない課題に対し、自己パターン認識や楽観性を高める支援を実施し成功に導いた事例を紹介しています。また、上司が部下のEQを育成するケースでは、質問をためらう部下に対し「楽観性」や「自己パターンの認識」を促進し、業務能力向上を実現しました。</p> <p>EQの活用は、リーダー育成、部下の自発性向上、心理的安全性の高い組織作りに役立ちます。中小企業診断士は経営者への助言を通じ、EQの有効性を広め、組織の活性化を支援する役割を担うことを提言する内容となっています。</p>	
連絡先	TEL	090-8590-8552(松下)
	e-Mail	takeshi.matsushita.1965@gmail.com